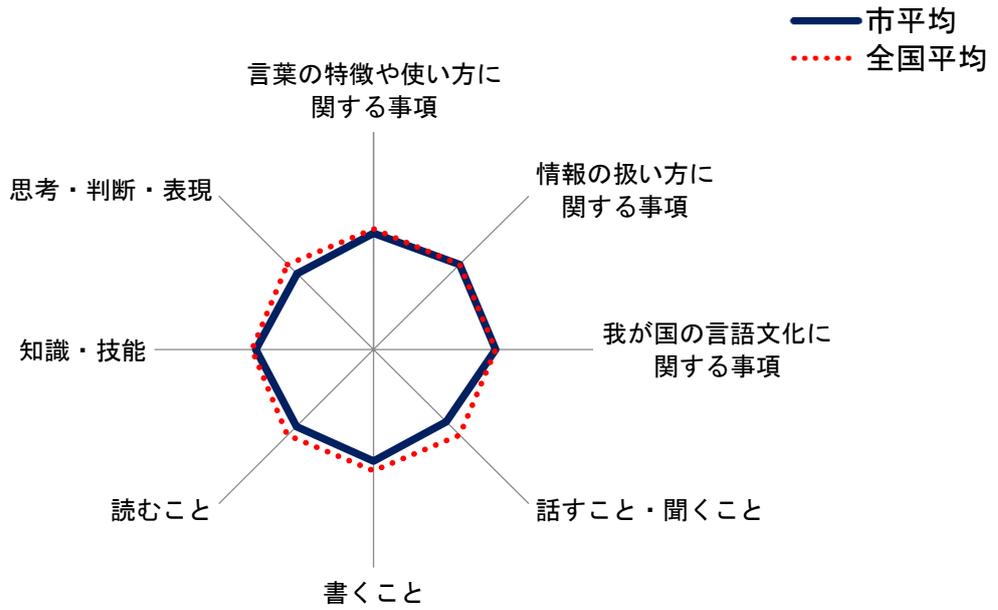
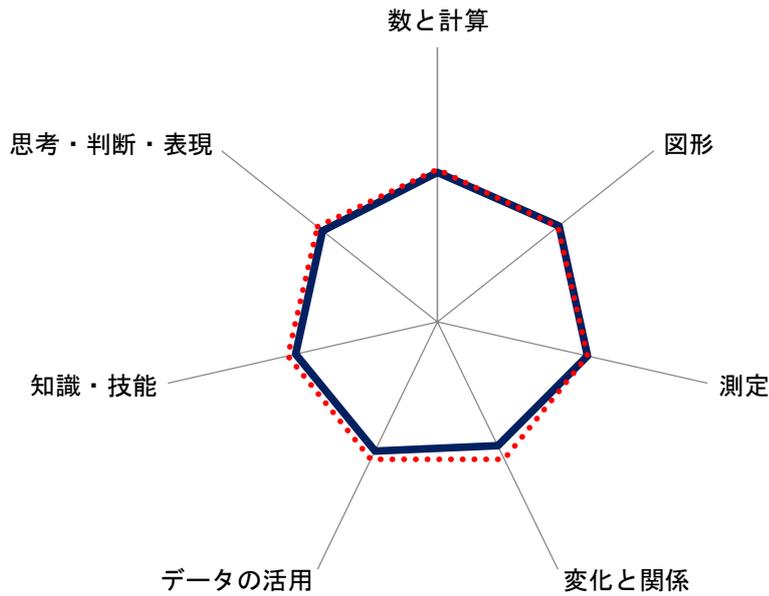


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【国語】

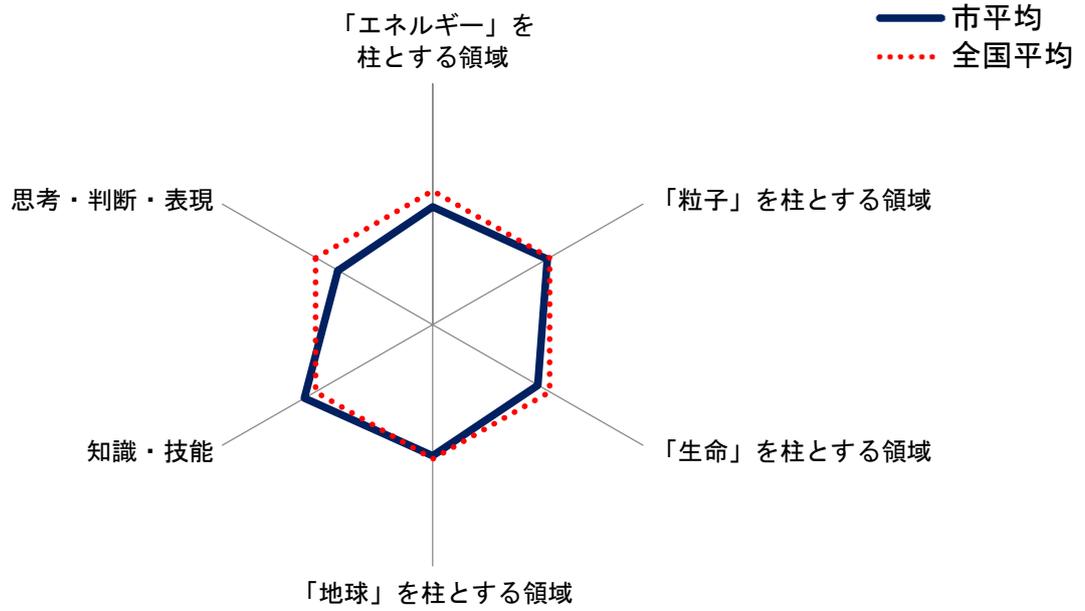


【算数】

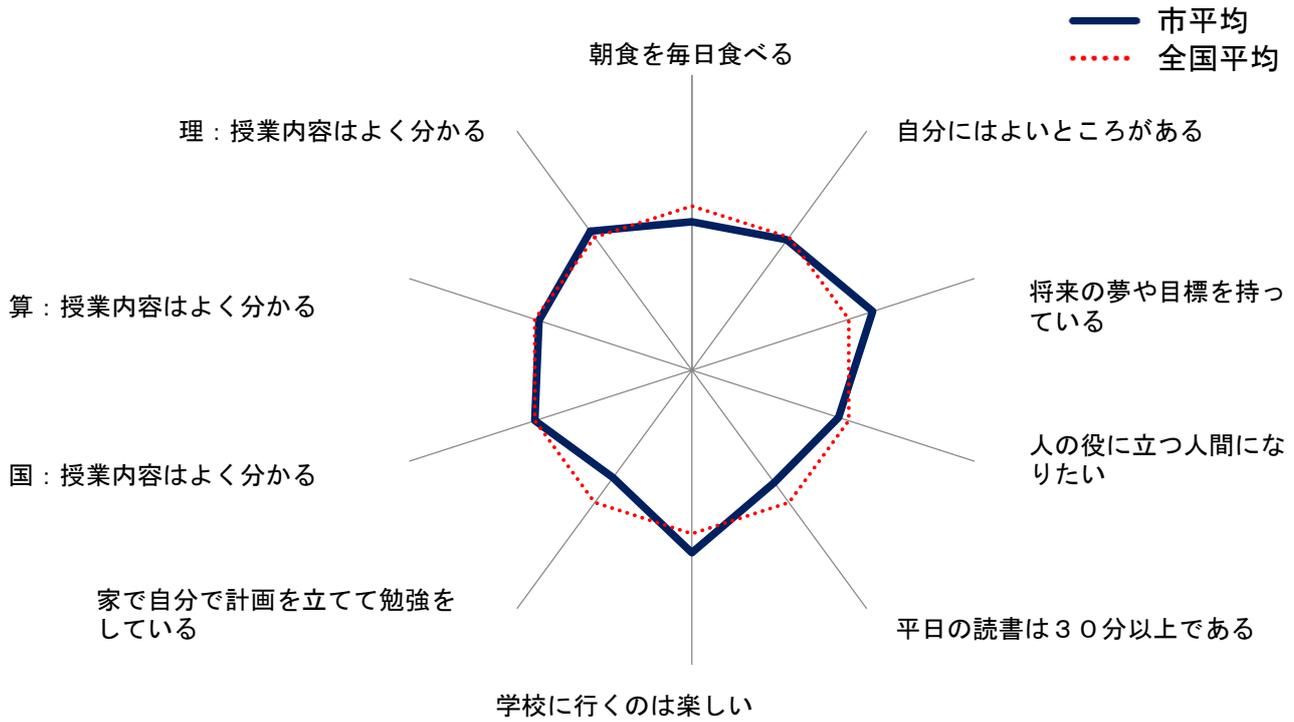


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【理科】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、「知識・技能」の項目は、理科では全国平均を上回っているものの、国語、算数は下回っている。また、「思考・判断・表現」の項目は、3教科とも全国平均を下回っており、学力の定着と向上に向けて、児童一人一人の課題を分析し、基礎的な知識及び技能の定着とその活用を一体的に捉えた学力の育成が、引き続き望まれる。

児童質問紙調査では、「将来の夢や目標を持っている」「学校に行くのは楽しい」の項目が全国平均を上回っている。また、前回、全国平均を下回っていた各教科の「授業内容はよく分かる」の項目が全国平均とほぼ同じか上回っており、市独自の学力推進計画に沿って授業改善がされていることがうかがえる。一方、「平日の読書時間は30分以上である」「家で自分で計画を立てて勉強をしている」などの項目が全国平均を下回っており、主体的に学習に取り組む態度や読書に親しむ態度の育成に向けた取組の推進が望まれる。